

福井火力発電所三国1号機の主タービン点検(第2報) および当面の電力需給状況について

平成25年3月29日
北陸電力株式会社

当社は、福井火力発電所三国1号機（定格出力：25万kW）において、主タービンの振動が高めに変動する現象が発生したことから、運転を停止し、点検を実施しております。（3月15日お知らせ済み）

タービン軸受け部の点検、手入れを行い、昨日（3月28日）から確認試験を行っていましたが、振動が高めに変動する現象が解消されなかったため、本日（3月29日）から、タービン本体の点検を行うことといたしました。

タービン本体の点検期間として概ね2ヵ月程度を見込んでおります。

なお、当面の電力需給バランスは以下のとおり厳しい需給状況となりますが、今後、需給状況を踏まえながら、火力・水力発電所の補修時期の調整や卸電力取引所の活用などにより供給力の確保に努めてまいります。

<当面の電力需給バランス>

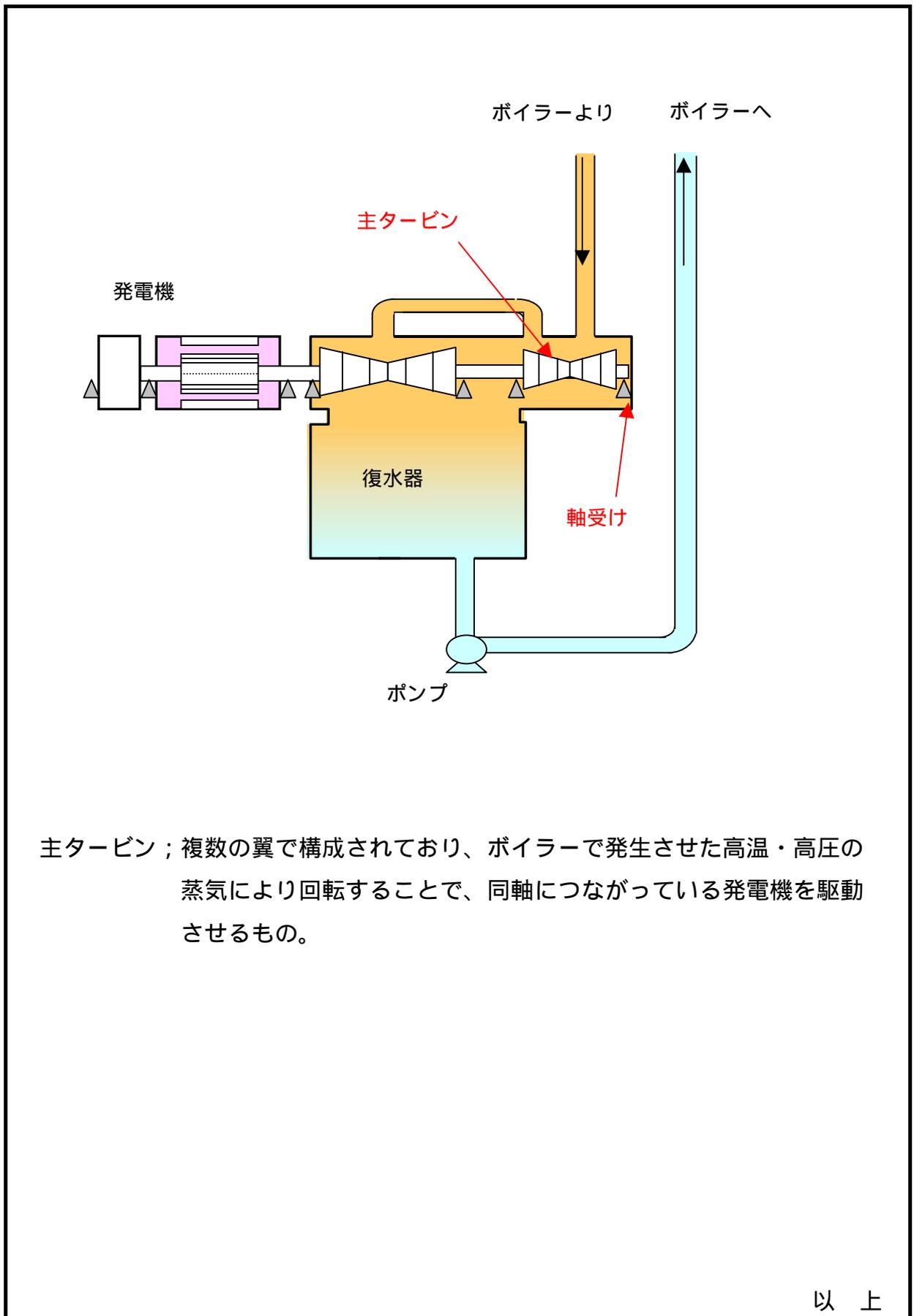
	4月		5月	
	当初見通し	三国1号機停止時	当初見通し	三国1号機停止時
供給力	447万kW	425万kW	434万kW	409万kW
最大電力	405万kW		378万kW	
予備力	42万kW	20万kW	56万kW	31万kW
予備率	10.3%	4.8%	14.8%	8.1%

当初見通し：3/28 お知らせ済みの需給バランス

三国1号機停止時の4月の供給力には、火力発電所の増出力(+3万kW)を織り込み

以上

【主タービン 概要】



主タービン；複数の翼で構成されており、ボイラーで発生させた高温・高圧の蒸気により回転することで、同軸につながっている発電機を駆動させるもの。